

女子第 62 回を迎えた西日本大会、決勝戦は 2 年ぶりの優勝を目指す大阪人間科学大学と全関西を制覇し今季 2 タイトル目を目指す大阪体育大学の関西同士の因縁の対決となった。序盤から点の取り合いになったこのゲーム。インサイドで熾烈な争いがなされ先の読めないゲーム展開となるも、内外のバランス良く攻撃の手を緩めなかった大体大に勝利の女神は微笑んだ。

第 1 ピリオド、大人科#9 大濱のシュートで均衡は破られた。対する大体大は#6 金本が気合の入ったインサイドプレイで堅い守りの大人科ゴールをこじ開ける。序盤、勢いを見せつけられた大人科だったが#17 畠中のバスケットカウントや#19 白鞘の連続 3P シュートで大体大から逆にリードを奪う。先に主導権を握りたい大体大は#4 キャプテン唐津が 3P シュートを決め必死に喰らいつく。ここからのところで第 1 ピリオド終了、22-20 の大人科リードで終えた。

第 2 ピリオド、依然としてゾーンディフェンスでプレッシャーをかける大人科に対し、大体大は#8 落合の速攻や#11 出水田のゴール下などで崩しにかかる。大人科も#13 大城の華麗な 3P シュートで点を返すが、インサイドからリズムを掴みだした大体大を前にそれまでの勢いに徐々に陰りが見え始める。その間にも大体大は#8 落合の速攻や#4 唐津のシュートでリードを広げ、関西女王の貫録を見せる。終了間際、ミスを連発した大人科は 43-33 と 10 点のリードを奪われ前半を終えた。

第 3 ピリオド、大人科は開始からゾーンプレスで大体大のミスを誘う。これが功を奏し#13 大城#12 北村が連続スティールから得点を重ねる。逆転に期待がかかる大人科だが、大体大#4 唐津#5 奥原を中心とした 1on1 を止めることができず点差を縮めることができない。このまま大体大ペースで試合が進むかと思われたが、大人科は交代で入った#14 中川が流れを変える。バスケットカウントを含む連続 5 得点、続く#17 畠中のバスケットカウント、終了間際の#13 大城の 3P シュートで点差は一気に 1 ゴール差に。59-57 の 2 点ビハインドで逆転の望みを最終ピリオドにつないだ。

第4ピリオド、開始早々、大人科#9 大濱が同点のシュートを決める。会場は大人科の逆転ムード一色だが、ここであっさりリードを渡さないのが大体大の強み。#5 奥原の3Pシュートに加え#11 出水田の合わせのプレイで再び大人科から10点のリードを奪う。タイムアウトを取って立て直しを計る大人科は、直後に#19 白鞘が3Pシュートを決めまたもや射程圏内に。逃げ切りたい大体大は#6 金本#11 出水田のインサイドプレイで徐々に点差を離していく。大人科も勝利への執念をみせるが一步届かず。82-69 で大体大が29年ぶりに西日本の女王の座を手にした。

記入者：木田 三平